

後援会通信「グロース」春号

# GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

2013 Spring  
vol.  
22



# リレーインタビュー 12,000の瞳、 12,000の輝き。

## series 4

学生時代は、多くのことに出会い、  
気づき、学んでいく成長の季節。

その姿には

一括りに語るこのできない

豊かで多彩な個性の輝きがあります。

今、興味をもっていること、

打ち込んでいるもの、将来の目標、  
そして夢。

東北学院大生一人ひとりの

飾らない等身大の姿をご紹介します。

3on3(スリーオンスリー)をご存知ですか?これは、コート半面(1ゴール)を利用して3対3で得点を競うバスケットボール。ストリートバスケットの別名の通り、屋外コートでゆるやかなルールの下、発展してきた背景があります。中学からずっとバスケットボールを続けてきた杉田さんは、公式バスケットにはない魅力があるといえます。「競技人数に対してスペースが広く、瞬時にして攻守が入れ替わるのでダイナミックなスピード感があります。チームプレーのほかに、巧みに相手を出し抜く個人技の見せ場もあって盛り上がります。実力が一枚も二枚も上手のチームに勝つこともあって、何が起ころのか目が離せません」。

杉田さんがリーダーを務めるチーム「4sk」は、仙台89ERSが開催している3on3トーナメントAST-GAME2012のファーストシーズンで見事優勝!仙台89ERSの公式戦の前座としてプレーしました。「コートにスポットライトが当たったり、DJがヒップホップなどの音楽をかけた時、他のスポーツにはない演出もされて会場が沸きます」。クールでカッコいい3on3に注目です。



●中学時代、キャプテンとしてチームをまとめ上げる苦労を知ったという杉田さん。「部活動やクラブでは「チームを支えてくれる人(キャプテン)を支えよう」という気持ちを持てないようになっています」。

法学部 法律学科 4年  
杉田 祐也さん

仙台89ERS開催のトーナメントで見事優勝。スピードと迫力、クールな個人技。ストリート発祥のスポーツ3on3。



●今いちばん興味を持っているのがダンスミュージック。「好きなアーティストは、DJ KAWASAKI。現在、オリジナルのミックSCDを制作中です」。

工学部 電気情報工学科 3年  
富並 剛さん

3歳から続けてきた鍵盤楽器。ロックバンド部ではキーボード/DJとして大活躍。音楽の興味は、クラシックからダンスミュージックへ。

3歳の時から鍵盤楽器(ピアノ、エレクトーン)を習ってきた富並さん。「高校になって勉強に本腰をいれなくてはならなくなってやめたが、それまではずっと続けていました。途中でいやになることはなかったですね。練習することも苦ではなかったし、性に合っていたのかもしれない」。

大学ではロックバンド部に所属。「それまではピアノの課題曲になることが多いクラシックばかり聴いてきたのですが、もっといろんな音楽に触れて、弾いてみたいと思いました」。ロックバンド部では、年に数回、市内のライブハウスで演奏会を開催しており、その都度ユニットを結成しますが、高い技術と抜群の安定感を誇る富並さんは引っ張りだこ。ライブでは、キーボードのほかにDJも担当しています。「DJプレイは、楽器では出せない音をつくれるのが面白いです。音を加工したりマルチトラックプレイでアレンジしたりするのは、技術のほかに音楽的感性が必要とされます。奥が深いです」。ライブに出始めの頃はとにかく演奏に集中していたという富並さんですが、最近では「お客さんが楽しんでくれているか気になる」とのこと。自分たちに足りないものは何か…ステージングの向上をめざして、練習にも力が入ります。

グローバル化が進む中、多言語能力の必要性がこれまで以上に高まっています。笠原さんが日本語以外の言葉に興味を持ち始めたのは、小学校の時。「小2から英会話スクールに通い始めました。しばらくして家族でアメリカ旅行に出かけたのですが、英単語を並べただけでもネイティブに通じるのがうれしくて…。それが学習への意欲につながっていったように思います。外国語への興味は尽きず、大学では迷わず「言語文化」を専攻しました」。

今年1月には「全日本中国語スピーチコンテスト全国



大会」(主催:日中友好協会)に宮城県代表として出場を果たした笠原さん。実は中国語を学習し始めたのは大学に入ってからというから驚きです。「中国語は習得の難しい言語に挙げられますが、確かに発音や声調(音の高低のパターン)にはとても悩まされました。そこで通学の時間(約90分)を利用して、学習CDを繰り返し聞いて耳から覚えるように努力しました」。昨年、イギリスへ語学留学した折は、中国人女子学生と中国語でコミュニケーションを図ったという笠原さん。やはり言葉は、異文化をつなぐ架け橋ですね。

●将来はスポーツ報道に携わりたいという笠原さん。「5月に開催されるペガタ仙台と江蘇舜天(南京市が本拠地のクラブチーム)との試合では、通訳ボランティアを務める予定です」。

教養学部 言語文化学科 4年  
笠原 瞳さん

第二言語として「中国語」を選択。3年間の学習で全国大会に出場するまでに。習得の鍵は、通学時間を利用したリスニング。



## CONTENTS

- 01 12,000の瞳、12,000の輝き。リレーインタビュー・4
- 03 SPECIAL ISSUE [特別企画] TG対談:松本学長×丸森後援会長

- 05 後援会総会のお知らせ
- 06 地区後援会のお知らせ

- 07 ゼミ・研究室探訪 呉 国紅ゼミ
- 09 倶楽部拝見 剣道部・落語研究会

- 11 CAMPUS NEWS 学生観光PRアワード
- 12 年間スケジュール

- 13 学務部より 学生部より 就職部より

学都仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「GROSS」は、大学の近況を後援会員である保護者の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

TG対談

# 松本学長 × 丸森後援会会長

## 先達としての経験知を、次代を担う可能性に託す。

～キリスト教精神に基づく人間教育を基軸に、“人としてよりよく生き抜く力”を養成～

一人ひとりのキャリアデザインを支援。

**松本学長(以下松本)** 丸森会長とこうして改めてお話をさせていただくのは初めてですね。本日はお越しいただき、ありがとうございます。

**丸森後援会会長(以下丸森)** この度はご就任おめでとうございます。松本学長は岡山県のご出身で、学生時代は東京でお過ごしになられたとのことですが、いつ仙台に居を移されたのですか？

**松本** 1978年春、東北大学に着任しました。ちょうど宮城県沖地震(1978年6月12日)のあった年ですから、忘れられません。記憶に留めるといえば、東日本大震災から二年の歳月を重ねました。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げたいと思います。新聞やテレビには“遅々として進めぬ復興”などの文字が躍りますが、経済面からみた復興はどうでしょうか？

**丸森** これは震災直後からいわれてきたことなのですが、同じ地域と括られても被害の濃淡が大きいということがあり、一概には論じられない面があるかと思えます。また、復興計画にあたっては“合意形成”と“スピード”は、必ずしも相容れるものではないという背景があります。それが復興の難しさの一つになっていますね。一方で、企業活動は着実に復調しつつあり、例えば被災した岩手、宮城、福島3県の県内求人数

は、震災の影響で激減した昨年同期に比べて大幅に回復しています。とりわけ復興需要のある業種などは、震災前を上回る水準に達しているという報道もなされています。

**松本** 大学は、優秀な人材の提供という社会からの要請に添えていくと同時に、学生さんのキャリアデザインや就職をきめ細かに支援していくことが課せられています。選び、選ばれるという厳しい過程があるにせよ、学生さんには個々の資質や能力を十全に発揮できる舞台(就職先)を見つけてほしいと願っています。また、近年、「採用意欲が高い中小企業」と「大手志向が根強い学生」とのミスマッチが指摘されていますが、ロールモデル(行動の規範となる存在、お手本)を含めた多様な情報を提供していくことで、解消されていくのではないかと考えています。

「人みなわが師」の精神とともに。

**松本** 学生時代は様々な出会いや体験を通じて、大きく成長していく季節だと思えます。丸森会長の思い出をお聞かせいただけませんか？

**丸森** 中学から大学まで、野球ばかりしていたんですよ。高校はいわゆる進学校でしたから、私のように毎日グラウンドを駆け回っていますと、先生から「勉強しろ」とお小言を頂戴するわけですが、野球部の先生はそんなことはおっしゃらなかった。おかげで伸び伸

この春、東北学院大学学長の任に就いた松本先生。  
長らく古代ローマ帝国史、初期キリスト教史を教授するとともに、ローマ帝国社会史の学究として、著書も多数上梓しています。趣味は読書。  
洋の東西を問わない長大小説から、日本が誇るサブカルチャー・マンガまで、という守備範囲の広さ。  
そしてもう一つの趣味が、プロ野球チームのデータ収集と分析。  
詳細な数字に、「野球通」の丸森後援会会長も驚かされていました。



びと野球に興ずることができました。たびたびご自宅にも伺いましたが、先生ご自身がたいへんな健啖家で、食べ盛りの私たちに惜しみなくごちそうをしてくれました。こうした“胃袋の恩義”はいつまでたっても忘れないのですが(笑)、大きな学恩を感じている理由には、生徒としてではなく一人の人間として尊重し、対峙してくれたからだと思います。

**松本** よいお話ですね。吉川英治(小説家、1892年-1962年、代表作に『宮

本武蔵』『新・平家物語』)は「我以外皆我師(人みなわが師)」という言葉が座右の銘としていました。人間としての存在をわきまえれば、いつでもいつも謙虚でいられるはず。上から目線になりようがありません。年嵩の者が年少者より優れている点があるとすれば、経験知(値)でありましょう。それらを惜しみなく与えていくことが我々教育者に課せられています。

**丸森** 私の祖父は、村の長を務めており、面倒見のよい人として慕われていま

した。家には「憐れみは徳なり」という書が掲げられており、それが祖父の行動の源泉だったのかと、いまでも折に触れ思い出します。

**松本** それはキリスト教の『憐れみ深い人々は幸いである』にも通じる思想ですね。東北学院は建学以来、キリスト教精神に基づく「人間教育」を貫いていますが、それはもとより「人としてよく生きる力」を涵養することに他なりません。変動著しい現代社会を、自立・自律的に力強く生きぬく力を養ってほしいと切望しています。

行動あるところに、道は拓ける。

**丸森** 私は前言の通り、野球一色の学生時代を送りましたが、多くの友人を得ることができましたし、チームワーク(組織)がいかに大切かを、身を持って知ることができました。また、チーム運営のために資金援助のお願いに回ったりもしました。まさに、“社会人として必要なものはすべて野球から教わった”と言えます。

**松本** 学生のみなさんには、4年の間に、学問でもスポーツでも芸術でもよいのですが、生涯をかけて極めたいテーマをぜひ見つけてほしいですね。また、将来自分がどういう手段で糧を得ていくのか、志向性や適性を含めて客観的に考えていくことも必要です。それには“投資”が必要だと私は考えているのです。これは決して金銭的なことではなく、自ら働きかけたり実践したり、チャレンジしたりすることです。やはり行動あるところに、道は拓けるのではないのでしょうか。

**丸森** 仙台経済界、ひいては宮城・東北圏を支える東北学院OB・OGの人的ネットワークは、一大勢力といっても過言ではありません。特に地場企業の代表は、TG出身者が多く占めます。我が

地域は今後復興という大事業をやり遂げなくてはなりませんから、学生さんには地元企業で自分の力を発揮するという選択肢もぜひ加えていただきたいものですね。

**松本** 仙台に来る前、東北の人とはとにかく寡黙だというイメージしかありませんでしたが、実際にお付き合いしてみてもその温かみで実直な人柄に感銘を受けたものでした。仙台は気候も良いですし、自然豊かな美しい街です。そうした都市としての資源をもっとアピールし、盛り上げていきたいものですね。丸森会長、本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

**丸森** こちらこそありがとうございます。さきほど少し雑談させていただいたのですが、松本学長が歴代・現役問わず、プロ野球選手のデータに非常に詳しくて驚きました。今度はゆっくりと野球の話でもいたしましょう。



後援会会長 丸森 伸吾 (まるとのちゆうご/写真左) 学長 松本 宣郎 (まつもと のりお/写真右)

東北大学経済学部を経て、株式会社七十七銀行入行。同行代表取締役頭取、同銀行代表取締役会長、社団法人全国地方銀行協会副会長、仙台商工会議所会頭、日本商工会議所副会長などを歴任。現在、株式会社七十七銀行相談役を務める。2006年秋の叙勲で旭日中綬章を受章。1932年生まれ、登米市出身。

1970年 東京大学文学部西洋史専修課程卒業、1973年 同大学院人文科学研究科(当時)修士課程修了。東北大学文学部講師、助教授、教授、この間文部省在外研究(英国)。博士(文学:東京大学)。2000年東北大学大学院文学研究科教授、宮城学院理事、学院長などをを経て、2013年4月より東北学院大学学長。著書に『地中海(地域からの世界史10)』(朝日新聞社、1992年)、『ガリラヤからローマへ-地中海世界をかえたキリスト教徒-』(山川出版社、1994年)他多数。専門はローマ史。1944年生まれ、岡山県出身。

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、「学生の就職を考えるセミナー」や「学生と保護者のための教養セミナー」、「パイプオルガンコンサート」、「学科別懇談会」や「個別相談」などの大学開放プログラムを多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。



昨年度の総会の様子

- 日時** 平成25年5月25日(土)
  - 総会/10時55分~12時
  - 大学開放プログラム/9時~15時30分
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)

地区後援会とは、7月~9月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全24地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女とご一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域の保護者の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。



昨年度の北上会場の様子

- 実施期間** 平成25年7月13日(土)、20日(土)、8月9日(金)~10日(土)、23日(金)~24日(土)、30日(金)~31日(土)、9月6日(金)~7日(土)
- 実施会場** 全24地区(下記の表をご参照ください。)
- プログラム** 学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、就職講演会、昼食、個別面談など

平成25年度 東北学院大学後援会総会並びに大学開放プログラム 開催概要 日程:平成25年5月25日(土)/場所:泉キャンパス

時間	内容
9:00	<b>受付総合案内所</b> 9:00~14:30(1号館外)
10:00	<b>大学礼拝</b> 10:25~10:45(礼拝堂)
11:00	<b>後援会総会</b> 10:55~12:00(礼拝堂) 1.開会宣言 2.聖書朗読並びに祈祷 3.挨拶 4.議事 (1)平成24年度後援会庶務報告 (3)平成25年度後援会事業計画(案) (2)平成24年度後援会収支決算報告 (4)平成25年度後援会収支予算(案)並びに会計監査報告 (5)その他 5.閉会宣言
12:00	<b>施設開放</b> 9:00~15:30 (1)施設見学 就職資料室 図書館 情報処理センター オーディオ・ビジュアルセンター カウンセリング・センター (2)課外活動見学 体育館 総合運動場 (3)大学紹介ビデオ上映 オーディオ・ビジュアルセンター
12:30	<b>パイプオルガンコンサート</b> 12:30~13:00(礼拝堂) 演奏者/今井奈緒子(教養学部)
13:00	<b>学生の就職を考えるセミナー</b> 13:15~14:15(2号館5階 257教室) 講師/就職部長
13:00	<b>学科別懇談会</b> 12:30~13:30(2号館各教室) ・学科の特色や教育内容 ・成績の見方、進級、卒業について ・教員との自由懇談(希望者のみ)
13:00	<b>個別相談コーナー</b> 12:30~15:30(2号館各教室) 学生部 ・奨学金 ・課外活動 ・アルバイト ・健康管理 就職部 ・就職活動 ・求人状況 ・教員・公務員への試験対策と準備
12:00	<b>昼食</b> 12:00~14:30(学生食堂) ・第1食堂 ・第2食堂 ・喫茶リーベ
14:00	<b>保護者と学生のための教養セミナー</b> 14:30~15:30(礼拝堂) 講師/弁護士 菊地 幸夫氏 「出会いの人生から学んだこと」 ※日本テレビ「行列のできる法律相談所」出演
15:00	
16:00	
17:00	

開催一覧

地域	開催地区	期日	会場
北海道	札幌	8月31日(土)	ホテル札幌ガーデンパレス
青森	弘前	8月9日(金)	ベストウエスタンホテルニューティール弘前
	青森	8月10日(土)	青森国際ホテル
	八戸	8月31日(土)	八戸グランドホテル
秋田	横手	8月23日(金)	横手セントラルホテル
	秋田	8月24日(土)	秋田ビューホテル
岩手	盛岡	8月10日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡
	一関	8月10日(土)	ベリーノホテル一関
宮城	北上	7月20日(土)	ホテルシティプラザ北上
	宮古	8月24日(土)	浄土ヶ浜パークホテル
宮城	大河原	7月13日(土)	えずこホール
	古川	7月20日(土)	芙蓉閣
山形	気仙沼	9月7日(土)	サンマリン気仙沼ホテル観洋
	新庄	8月30日(金)	ニューグランドホテル
	鶴岡	8月31日(土)	東京第一ホテル鶴岡
山形	山形	7月13日(土)	山形国際ホテル
	米沢	8月24日(土)	ホテルサンルート米沢
福島	福島	9月7日(土)	福島グリーンパレス
	郡山	8月24日(土)	郡山ビューホテルアネックス
	相馬	8月31日(土)	相馬フローラ
福島	いわき	9月7日(土)	いわきワシントンホテル
	新湊	8月23日(金)	新潟東急イン
新潟	新潟	8月23日(金)	新潟東急イン
栃木	宇都宮	9月7日(土)	チサンホテル宇都宮
東京	東京	9月6日(金)	東京ガーデンパレス

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月初旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。  
 ※全体会の開始時間は10時、終了時間は13時です。また、個別面談を希望する場合の最終終了時間は、青森・八戸・秋田・盛岡・山形・福島・郡山・古川・大河原地区が15時頃、その他の地区は14時頃の予定です。

# 再生可能エネルギーで“自産自給”。 エネルギーの未来を描く 「マイクログリッド」。

工学部 電気情報工学科 **呉 国紅** ゼミ

呉研究室のモットーは「よく学び、よく遊ぶ」。勉強は大事だけど、息抜きも大切。親睦会や合宿などのイベントもたびたび企画・開催されています。

呉 国紅 教授 / 1969年中華人民共和国・天津生まれ。16歳で天津大学工学部電気工学科入学。1989年7月同大卒業。1994年3月同大 同学部・学科 修士課程修了。1993年9月同大 同学部・学科 博士課程に飛び級入学。1995年10月東京大学大学院に国費留学、東京大学と中国天津大学の共同指導で博士課程修了。博士(工学)。東京大学日本学術振興会研究員、東北大学教員を経て、2005年に東北学院大学に赴任。2011年より現職。専門は、電力系統工学。

～東日本大震災以降、エネルギー問題はこれまで以上の重要性と緊急性をもって、私たちの前に横たわっています。この困難な課題に対して、最適解を見いだすことができるのは科学技術の力、とりわけ“工学”の研究開発力です。今号では、いま注目の「マイクログリッド」の研究に震災前から取り組んでおられる呉先生の研究室を訪ねました。～

いった「再生可能エネルギー」への注目が高まっていますが、福島第一原子力発電所の事故を受けて自然エネルギー活用の流れに拍車がかかりました。世界に目を転じてみれば太陽光発電の累計導入量は、2010年末の39.7GW(ギガワット)から2011年末には68GWまで急伸びしました(EPIA, Annual Report 2011)。これは東日本大震災から教訓を得た多くの国と地域が、太陽光発電を未来のエネルギー戦略の柱と位置づけたものといえるでしょう。

環境負荷が少なく無尽蔵ともいえる再生可能エネルギーですが、必ずしもいいことばかりではありません。自然任せですから出力が安定せず、これを既存の電力供給システム(電力会社の送電系統)に組み込むと、供給電力の電圧低下や周波数変動などいわゆる電気の「質」の低下を招く懸念があります。そのため新しい電力システム技術の開発が必要になってくるのです。

環境負荷が少なく無尽蔵ともいえる再生可能エネルギーですが、必ずしもいいことばかりではありません。自然任せですから出力が安定せず、これを既存の電力供給システム(電力会社の送電系統)に組み込むと、供給電力の電圧低下や周波数変動などいわゆる電気の「質」の低下を招く懸念があります。そのため新しい電力システム技術の開発が必要になってくるのです。

## その場で作って消費する、 エネルギーの自給自足。

最近、新聞やテレビを通じ「スマートグリッド(次

世代送電網)」という言葉をよく見聞きされると思います。これはスマートメーターを介して、発電設備から末端の電力機器までをデジタル・ネットワークでつなぎ、これまでの電力会社の中央制御では達成できなかった自律分散的な――つまり発電から電気の消費までのきめ細やかで最適な制御体制を整えようというものです。それを称して「スマート(smart)=賢い」というわけですね。

一方、私たちの研究室が目指すのは、住宅や工場、学校などの公共施設、市町村などといった小さな規模で、再生可能エネルギーを安定的に効率よく使う電力ネットワーク「マイクログリッド」です。太陽光発電や風力発電といったクリーンエネルギーを主な電源とし、それに電力貯蔵(蓄電)+電力変換制御などを組み合わせて構築して、ひとたび停電が起きても持続的に過不足なく電気が使えるような技術を研究しています。私はこれを「エネルギーの自給自足」また、その場で発電したものを同じ場所で消費するので地産地消ならぬ「自産自消」と呼んでいます。私たちの研究室では、数学解析・数値解析による“理論的アプローチ”と、実際に小型風力発電や太陽光発電を設備した施設による“実験”との両輪で研究を推進しています。上記の実験には、省電力の次世代直流電力機器(現在、家庭用の電化製品のほとんどは交流電源に対応)へ、直流電力を安定的に給電する、次世代ハイブリッドマイクログリッド構成も含まれています。

ご存知の通り、資源に恵まれない日本はその多くを海外からの輸入に頼っています。再生可能エネルギーの活用は、エネルギーセキュリティの観点からも非常に重要になっていきます。また、世界には日本と同様に資源に乏しい国、また砂漠、離島、山間地など電気の恩恵を受けていない国や地域もたくさんあります。私の取り組みが、やがては誰かの役に立つのなら、研究者・科学者冥利に尽きるというものです。



## 人を育てるということは、 自分も成長していくこと。

今ではなんとか日本語を話せるようになりましたが(編集部注:母国語のように流暢に日本語を話されます)、来日時には言葉の壁に大変苦労しました。留学前に母国で日本語教育を受けてきましたが、自在に駆使できるレベルではなく、東京大学大学院の研究室では、教授に「英語で話してもいいですか?」と許可を求めましたが、首を縦に振ってはいませんでした。しかし、今となってみれば、たくさんの困難を感じながらも日本語を話し続けたことが、習得・習熟につながったと思っています。

ですから私も、その時は厳しい指導であっても長い目でみて学生さんの成長に役立つような、“耳の痛いことを言える”教育者でありたいと思っています。そして、人を育てるということは、すなわち自分も成長していくということ。学びや実験・研究、様々な人や事柄との出会い通じて、内なる可能性を大きく花開かせていきたいと強く願っています。



## MY FAVORITE



### 私のお気に入り

子どもの頃から体を動かすのが大好きで、学校帰りは毎日友達と近所を走り回っていたものでした。たまに“いたずら”が過ぎて、大人たちから大目玉を食らったことも懐かしい思い出です。ここ多賀城キャンパスはグラウンドやコート、体育館などのスポーツ設備が充実しています。私も同僚と誘い合わせてはサッカーやテニスに興じています。実力の程は“万年初心者”といったところですが(笑)、競い合うよりは楽しむことに重きを置いているので、それでヨシとしています。知的活動の後は、しっかり体を動かして心身のバランスを取ることが大切だと思いますし、個人的な経験からも、その重要性を知るところです。

# 倶楽部拝見

## 剣道部



道場での稽古風景

毎日約2時間、竹刀を打ち込む音と剣道特有の甲高い声を響かせ、ひたすら稽古に励む。

剣道には“気剣体”という言葉がある。気とは心の働き、剣は竹刀の動き、そして体は体の運び。試合ではこの3点が一致して初めて有効な打突になる。それはある日突然、習得できるものではなく、稽古に稽古を重ねて築き上げられる。新年度を間近に控えた3月も、総勢約40名の剣道部の面々は気剣体の一致を意識しながら道場で稽古に打ち込んでいた。

「今年は全国で優勝したいです。強い大学は数多くありますが、強い人と対戦し、倒すことが醍醐味だと思いますし、目標は高く掲げたいので。今年度、最上級生となる小澤さんの言葉は、全部員の総意でもある。実際、その目標は絵空事ではない。ここ数年は全国への切符を逃したことはなく、実力は常に東北でトップクラス。昨年の東北大会でも団体では男子が2位、女子が優勝、個人戦はアベック優勝を果たしている。全国大会への出場はあくまで目標への過程であり、目指すべきはもっと上にある。そして5月には個人戦の東北予選が始まる。今年こそと、並々ならぬ思いで頂を見据える剣道部だが、予期せぬアクシデントが彼らを襲った。主将で団体戦大将、チームの顔でもある齋藤さんが稽古中にアキレス腱を断裂したのだ。復帰の見通しは立たず、個人戦への出場は絶望。秋の団体戦までは間に合わせたいと仲間に語ってはいるが、試合動はそうた

やすく戻るものではない。しかしこの不足の事態が、小澤さんをはじめ部員に闘争心を焚き付けた。「個人戦は彼の分まで自分たちが頑張らなければ。そして団体戦、復帰できても感覚は戻っていないかもしれないので、できれば大将に回る前で勝負をつけられるよう、稽古に励みます」。

悲願の全国制覇へ。気剣体を磨き上げたその先に、目指すべき頂が見えてくる。



剣道部  
小澤 啓佑さん  
(経営学部 経営学科4年)

## 落語研究会

「就職活動だったり、ゼミだったり、やるべきことは山ほどありますが、できれば今年は落語に重きを置いて活動したいな、なんて思っています」。落語研究会前会長の高山さんがその魅力に引き込まれたのは入学後。元々は演劇に興味があり、サークルもそちらに…と考えていたのが、所属したのは何故か落研。理由は「毎日活動するのはちょっと…」とのこと。もっと簡単に言えば「遊ぶ時間も欲しかった」ということになる。その頃を思えば、これほど落語にのめり込むとは思わなかっただろう。

落語研究会には毎年3回、定番の高座がある。ひとつは新入生の初高座、その後に行われる大学祭での六軒亭、そして定期落語会。他にも外部からの依頼があればデイサービスセンターや町内会の催し、居酒屋などにも出張し、客前で噺を披露する。運営は後輩に譲り現在は隠居状態という高山さんも、求めに応じてあちこち

で“豊包亭福楼”の高座名で噺を演じ、ひとときの笑いを届けている。「落語は想像力に訴えかけるもの。道具もいらず、演じ方次第でお客様に情景を思い浮かべてもらえる。それが面白さであり、魅力でしょうか」。

古典、創作、新作、改作。演目は数あれど、結局のところ落語は大衆のための演芸。「とにかくお客様が楽しんでくれたら」との思いを大事にする高山さんだが、集大成の今年度に関してはどうしても演じたい噺があるという。「自分は演劇を研究していて、シェイクスピアのロミオとジュリエットを改作で落語にしてみたいなど。どうにかこれを形にして、一度は高座で演じたいですね。それと最後にひとつ。誰かを喜ばせたい、面白がらせたい方はぜひ落研へ。部員は男女半々なので、女性の方も心配せずに落語を楽しみませんか」。



落語研究会  
高山 亮平さん  
(教養学部 言語文化学科4年)



大学祭に“六軒亭”が登場  
六軒亭では噺を演じるだけでなく、大喜利や漫才も取り入れ趣向を凝らした寄席に。



大学の年間スケジュールをお知らせいたします。  
保護者の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。

## 第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード 阿部遥奈さんが全国自治体賞受賞

全国66大学のミスキャンパスが地域の魅力をインターネットに投稿し、評価を競い合う「第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」に、教養学部言語文化学科2年の阿部遥奈さんが参加。見事、予選を1位で通過し全国自治体賞を受賞しました。

昨年10月から今年1月までの予選期間中、阿部さんは生まれ育った石巻市をはじめ宮城県内の様々な場所を巡り、写真と文章による観光PRを約20回投稿。現地の空気感まで伝わるような情報を紹介してきました。「多くの場所に足を運んでみて、知らなかった宮城の魅力に気づかされました。有名な名産品だけでなく豊かな自然や人の温かさにも触れ、貴重な経験になったと思います」と、その時を振り返ります。また、上位10校のミスが参加した決勝戦では、審査員を前に自分の言葉でプレゼンテーション。シート1枚1枚に地元を愛する気持ちを込めた内容で、入賞を果たしました。

今後は決勝進出者が動画投稿サイトにそれぞれの観光PRをアップしていく試みもスタート。阿部さんは「私にできることは小さいですが、一人でも多くの方に宮城の魅力が伝わり、震災前よりも観光客が増えてくれたら。復興市場や商店街にも足を運んでいただき、頑張っている現地の姿を見てほしいですね」と、観光PRの継続に意欲を見せています。



学生観光PRアワードの参加者



審査の様子



(被災地)松島にある牡蠣小屋で見つけた笑顔

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**泉**印は泉キャンパス、**多**印は多賀城キャンパスの日程です。

前期		後期			
平成25年 4月	3日(水)	入学式	9月	17日(火)	授業開始(土多泉)
	1日(月)	新入生オリエンテーション(～7日)		17日(火)	振替授業(土曜日分)
	8日(月)	授業開始(土多泉)		18日(水)	振替授業(月曜日分)
	13日(土)	スプリング・カレッジ		30日(月)	9月期卒業式
5月	15日(水)	創立記念日[創立127周年]	10月	13日(日)	大学祭(多泉～14日)
	25日(土)	後援会総会		15日(火)	振替授業(月曜日分)
6月	1日(土)	青山学院大学総合定期戦(～3日)		18日(金)	大学祭(土～20日)
	21日(金)	北海学園大学総合定期戦(～23日)	26日(土)	ホームカミングデー[同窓祭]	
7月	13日(土)	地区後援会(大河原・山形)	11月	6日	振替授業(月曜日分)
	20日(土)	地区後援会(北上・古川)		12月	6日(金)
	23日(火)	振替授業(土曜日分)	19日(木)		大学クリスマス(土泉)
	25日(木)	振替授業(月曜日分)	20日(金)		大学クリスマス(多)
	26日(金)	授業終了(土多泉)	20日(金)		公開東北学院クリスマス(土)
	27日(土)	前期試験(～31日、8月1日～2日)	20日(金)	授業終了(土多泉)	
8月	1日(木)	前期試験(～2日)	21日(土)	冬休み開始(土多泉)	
	3日(土)	夏休み開始(土多泉)	21日(土)	集中講義(土多泉～28日)	
	3日(土)	オープンキャンパス(全学部)	平成26年 1月	4日(土)	冬休み終了(土多泉)
	4日(日)	オープンキャンパス(多)		6日(月)	授業開始(土多泉)
	5日(月)	サマー・カレッジ(～7日)		16日(木)	振替授業(土曜日分)
	9日(金)	地区後援会(弘前)		17日(金)	企業研究セミナー(全学部3年生対象～19日)
	10日(土)	地区後援会(青森・一関・盛岡)		18日(土)	大学入試センター試験(～19日)
	23日(金)	地区後援会(横手・新潟)		25日(土)	授業終了(土多泉)
	24日(土)	地区後援会(秋田・郡山・宮古・米沢)	27日(月)	後期試験(～29日、2月5日～7日)	
	30日(金)	地区後援会(新庄)	2月	1日(土)	一般入学試験 前期日程(～3日)
31日(土)	地区後援会(札幌・八戸・鶴岡・相馬)	5日(水)		後期試験(～7日)	
9月	2日(月)	集中講義(土多泉～14日)	3月	4日(火)	一般入学試験 後期日程
	6日(金)	東北学院大学生のための合同企業セミナー(全学部4年生対象)		25日(火)	卒業式
	6日(金)	地区後援会(東京)			
	7日(土)	地区後援会(宇都宮・いわき・気仙沼・福島)			
	14日(土)	夏休み終了(土多泉)			

\*日程は変更となる場合もあります。

## 学務部より

# 教職課程認定大学実地調査

学務部長  
千葉 昭彦

昨年11月半ばに文部科学省による教職課程認定大学に対する実地調査が行われました。この実地調査は、いわゆる教職課程をもつ大学に対して、その認定時の課程水準が維持され、かつその向上に努めているかを確認するために行われているものです。毎年全国で30数大学が実地調査を受けています。本学の前回の実地調査は記録によると1995年なので、17年ぶりとなります。

調査内容は、教職課程の認定を受けているすべての学部・大学院のカリキュラムや授業内容はもちろんのこと、教職課程センターの運営状況、教育実習の事前・事後指導の実施内容、過去5年間の教員免許状取得状況や教員就職状況、さらには図書館蔵書を含む学内諸施設の実態に

まで及んでいます。事前の書類調査とは別に、実施調査当日は、視察委員(他大学教員)2名、文部科学省担当者2名、宮城県教育委員会1名の5名が本学を訪れ、朝早くから約7時間にわたって視察および質疑応答がおこなわれました。

実地調査の最終講評はまだ公表されていませんが、当日、視察委員から「教員養成に関する教育課程や教員組織等について、全般的に基準を充分満たしていて、良好に実施されている」との評価をえています。ただ、一部のシラバスの記載の改善や蔵書のより一層の充実についてのコメントもありました。これらの点を踏まえて、本学の教職課程のなお一層の充実と教員への就職増加を実現していきたいと考えています。

## 学生部より

# 学長特別表彰制度

学生部長  
石塚 秀樹

大学には、学長特別表彰という制度があります。体育会活動、文化団体活動での顕著な成績はもちろんですが、授業やゼミなどを通じて輝かしい業績を上げた団体、犯罪や災害を未然に防いだ事などを、学長が特別に表彰する制度であります。

昨年度は、団体2件、個人2件、合計4件の表彰が出ました。2012年7月28日に開催された第二回モバイルアプリコンテスト(映像情報メディア学会と東京工業大学?像情報工学研究所共同主催)において、工学部電気情報工学科の2名の学生が準優秀賞を受賞しました。受賞作は「つながるキズナ」です。災害時の避難所管理アプリケーションとして使われるものです。

また、「第8回日銀グランプリ〜キャンパスからの提言」に参加した経済学科の学生4名が、「佳作」入賞しました。小論文タイトルは「親から子への教育方法〜楽しく「お金の管理」を教えよう!」です。全国の有力大学が参加する中での受賞が高く評価されました。

また、電車内での迷惑防止条例違反行為において、被疑者検挙に貢献したことで、2名の学生が表彰されました。2人は、そのときは怖いとも思わず、何とかしなければという思いから行動した、と言っています。

このように、講義、ゼミ、課外活動などを通して、学生生活を充実させています。学生が充実した生活を送れるように、学生部は丸となってサポートしていきます。

## 就職部より

# 就職活動スケジュール

	1年生			2年生			3年生						4年生					
	7月	10月	3月	6月	8月	3月	6月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	9月
一般企業	●就職ガイダンス ●適性検査			●就職ガイダンス ●就職対策講座 ●論文文講座	●職業適性検査		●第1回 SPI模擬試験 ●職業適性検査	●インターンシップ	●第3・4・5回就職活動ガイダンス ●就職実践模擬試験 ●第2回 SPI模擬試験 ●SEQ・自己分析・行動特性検査	●第6回 就職活動ガイダンス	●第7・8回 就職活動ガイダンス		●エントリーシート講座・面接対策講座 ●情報処理適性検査	●第9回 就職活動ガイダンス				●東北地区私立大学就職セミナー ●東北学院大生のための合同企業セミナー
公務員	●公務員ガイダンス ●公務員講座【教養基礎】 ●公務員講演会			●公務員ガイダンス ●公務員講演会	●公務員講座【教養科目基礎養成コース】 ●公務員講座【専門科目基礎養成コース】 ●公務員講座【技術職基礎コース】		●公務員講座【教養科目完成コース】 ●公務員講座【専門科目完成コース】 ●公務員ガイダンス		●公務員講座【技術職応用コース】	●公務員模擬試験 ●公務員先輩体験談			●公務員講座【教養科目実践コース】 ●公務員講座【専門科目実践コース】 ●公務員講座【公安系職種向教養科目実践コース】	●公務員講座【直前対策】				●国家公務員各省庁説明会 ●地方公務員各自治体説明会 ●公務員模擬試験
教員	●教職課程ガイダンス ●教員講演会			●教職課程ガイダンス ●教員講演会	●教員講演会 ●教員模擬試験		●教職課程ガイダンス ●教員対策講座			●教員講演会		●教員対策講座						●教員採用説明会

\*スケジュールはキャンパスによって多少異なります。

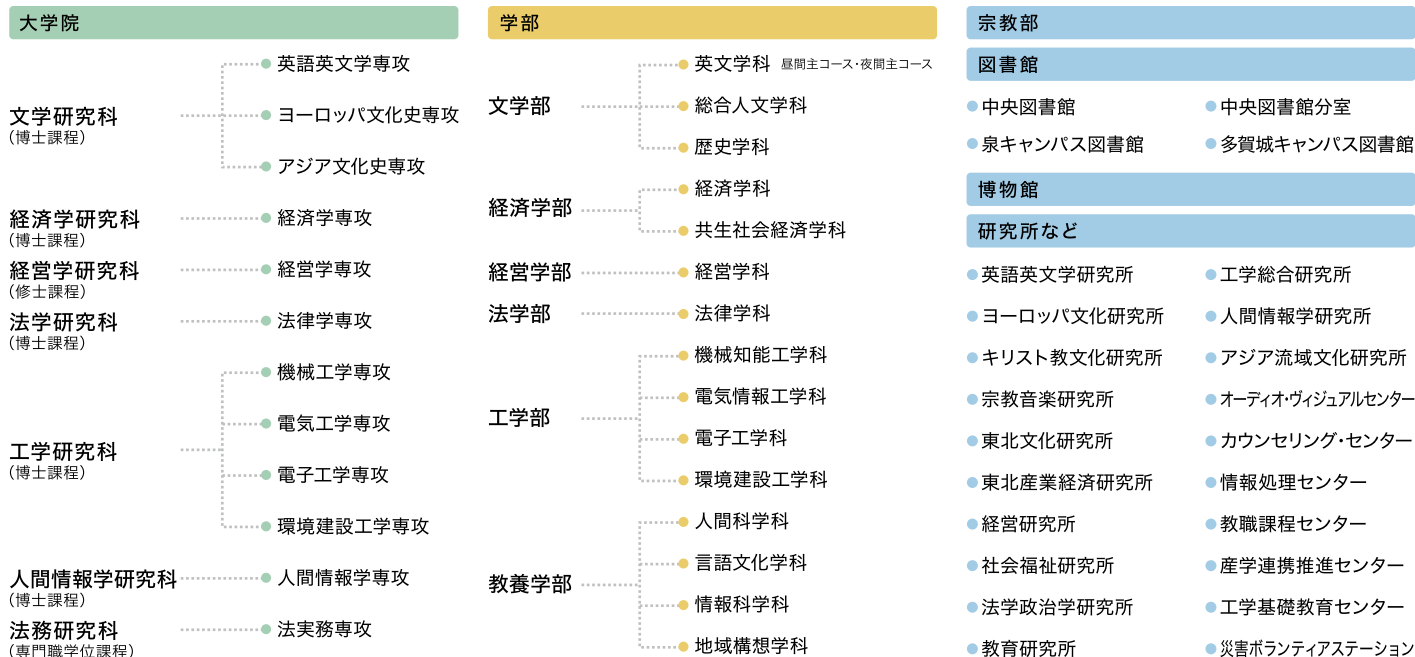


任期(平成24年~平成26年)

- **会長** …………… 丸森仲吾(仙台市)
- **副会長** …………… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- **庶務担当理事** …… 高橋祥允(仙台市)
- **会計担当理事** …… 小濱良雅(仙台市)
- **理事** …………… 寒河江満子(仙台市)・佐久間敬子(仙台市)・村山令記(仙台市)・齋藤靖(仙台市)・今野文昭(仙台市)・庄子真由美(仙台市)・武内宏之(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤禎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- **監事** …………… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- **顧問** …………… 平河内健治・星宮望・松本宣郎
- **参与** …………… 佐々木俊三・斎藤誠・辻秀人・原田善教・菅山真次・高木龍一郎・伊達秀文・佐久間政広・日野哲・佐々木哲夫・千葉昭彦・植松靖夫・石塚秀樹・前田修也・中川清和・佐々木郁子・松澤茂・木村安博
- **事務局長** …… 齋藤信二
- **事務局員** …… 武田三子雄・佐藤光男・丹野光雄・横山伸一・小原武久・二階堂哲・土田恵介・菅井研・駒板高明・渡邊義春・草野正聡

## ORGANIZATION 教学組織図

平成25(2013)年4月1日現在



## 東北学院大学

<p><b>土樋 キャンパス</b></p>	大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各3・4年)、夜間主コース 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6421(総務課) fax 022-264-3030( // )	<p><b>多賀城 キャンパス</b></p>	大学院：工学研究科 学部：工学部 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1 tel 022-368-1116(庶務係) fax 022-368-7070( // )
<p><b>泉キャンパス</b></p>	大学院：人間情報学研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各1・2年)、教養学部 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 tel 022-375-1121(庶務係) fax 022-375-4040( // )		

## 東北学院大学後援会通信 GROWTH (グロース) vol.22

■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成25(2013)年4月

編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)

発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030

E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/

印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に視されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。

●「保護者のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付 ●「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務



GROWTHは、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインクを使用して印刷しています。